

平成21年12月期 第1四半期決算短信

平成21年4月30日

上場取引所 東 福

上場会社名 ロイヤルホールディングス株式会社

コード番号 8179 URL <http://www.royal-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今井 明夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 藤岡 聡

TEL 03-5707-8873

四半期報告書提出予定日 平成21年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第1四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	27,575	—	△75	—	△36	—	△419	—
20年12月期第1四半期	29,067	2.8	145	△84.9	160	△84.7	△472	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第1四半期	△11.10	—
20年12月期第1四半期	△12.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第1四半期	77,572	42,714	53.9	1,106.57
20年12月期	77,721	43,483	54.6	1,123.62

(参考) 自己資本 21年12月期第1四半期 41,801百万円 20年12月期 42,445百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	53,200	—	△300	—	△200	—	△500	—	△13.24
通期	112,000	△6.7	1,650	53.2	1,800	51.1	200	—	5.29

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第1四半期	40,804,189株	20年12月期	40,804,189株
② 期末自己株式数	21年12月期第1四半期	3,028,664株	20年12月期	3,028,330株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年12月期第1四半期	37,775,721株	20年12月期第1四半期	38,100,743株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

3. 本資料のサマリー情報、【定性的情報・財務諸表等】1. 連結経営成績に関する定性的情報 及び 5. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報、「参考資料」(3)セグメント情報 に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、昨年来の世界経済の急速な悪化が引き続き深刻さを増しており、企業収益も大幅に悪化し、消費者の生活防衛意識の高まりから個人消費も低迷するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

当飲食業界におきましては、節約志向の高まりから消費者の外出頻度が低下するとともに、低価格志向が強まるなど、当業界を取り巻く経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は27,575百万円（前年同期比△5.1%）となり、損益面におきましては、営業損失75百万円（前年同期営業利益145百万円）、経常損失36百万円（前年同期経常利益160百万円）を計上いたしました。また、閉鎖を予定していた店舗の一部について、賃貸借契約条件の変更等により店舗営業の継続を決定したこと等に伴う店舗閉鎖損失引当金の取崩し537百万円などを特別利益に計上した一方、投資有価証券について時価の下落による評価損534百万円などを特別損失に計上いたしました。これらの結果、法人税等404百万円を控除し、419百万円の四半期純損失（前年同期純損失472百万円）を計上いたしました。

事業の種類別セグメント概況については、次のとおりであります。

（外食事業）

当社グループの基幹である外食事業におきましては、主力の「ロイヤルホスト」でお値打ち感の高い商品を導入するなど、景気情勢に合わせた営業施策を試みましたが、景気悪化による消費者の外出を控える傾向は依然として強く、来客数が減少したため、売上高は22,615百万円（前年同期比△7.2%）となりました。損益面におきましては、適正なコスト管理に努めましたが、売上高の減少分を吸収するには至らず、営業利益は43百万円（前年同期比△54.4%）となりました。

（食品事業）

食品事業におきましては、景気悪化の影響により製造・出荷が減少し、売上高は793百万円（前年同期比△1.4%）となりましたが、製造部門全体の生産性向上に注力しました結果、営業利益は83百万円（前年同期比+40.7%）となりました。

（機内食事業）

機内食事業におきましては、M&Aによる福岡空港における事業基盤の拡大もありましたが、世界経済の減速を背景に航空会社が推し進める合理化の影響を受け、当社グループが機内食を搭載する路線が一部運休・減便となったことにより、売上高は1,472百万円（前年同期比△6.8%）、営業利益は194百万円（前年同期比△25.3%）となりました。

（ホテル事業）

ホテル事業におきましては、前期に開業したホテルが増収に寄与し、売上高は2,694百万円（前年同期比+15.9%）と伸張いたしました。景気悪化の影響により法人利用が減少しており、既存ホテルにおいて収益性が大幅に低下したため、171百万円の営業損失（前年同期営業損失10百万円）を計上いたしました。

（注）前年同期比増減率及び前年同期の金額は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ148百万円減少し77,572百万円となりました。内訳は、流動資産が1,519百万円増加し、固定資産が1,668百万円減少しております。流動資産の増加は、季節的要因による受取手形及び売掛金の減少613百万円、たな卸資産の減少246百万円等があった一方、借入等により現金及び預金が2,786百万円増加したことなどによるものであります。また、固定資産の減少は、減損処理等による投資有価証券の減少258百万円、店舗閉鎖等に伴う差入保証金の減少240百万円などにより、投資その他の資産が減少したことなどによるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ620百万円増加し34,858百万円となりました。これは、季節的要因による支払手形及び買掛金の減少454百万円、未払法人税等の減少597百万円及び預り金の減少などによるその他流動負債の減少1,962百万円等があった一方、短期借入金の増加4,290百万円があったことなどによるものであります。純資産は、四半期純損失419百万円の計上及び配当金の支払い377百万円などによる利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ769百万円減少し42,714百万円となりました。これらの結果、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べ17円5銭減少し1,106円57銭となり、また、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.7ポイント低下し53.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、連結除外に伴う増減額を除き、前連結会計年度末に比べ2,795百万円増加し8,549百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、219百万円の支出となりました。法人税等及び預り源泉税の支払前のキャッシュ・フローは1,603百万円の収入であり、法人税等及び預り源泉税の支払いが1,823百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、577百万円の支出となりました。これは、差入保証金の回収(純額)282百万円があったほか、設備投資による支出621百万円、店舗閉鎖等に伴う費用の支出96百万円及び連結子会社株式の追加取得による支出が89百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、3,592百万円の収入となりました。これは、短期借入金の純増減額(収入)4,290百万円及び配当金の支払額377百万円などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

「サマリー情報」に記載した平成21年12月期の連結業績予想は、平成21年2月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。なお、当該業績予想は、当社グループが現時点までに入手可能な情報から判断して、合理的であるとした一定の条件に基づいたものです。実際の業績は、「天候」「景気動向」等の様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

法人税等の納付額の算定に関しては加味する加減算項目及び税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

(たな卸資産の評価基準の変更)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、評価基準について原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更による当第1四半期連結会計期間の損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,549	5,763
受取手形及び売掛金	3,362	3,975
たな卸資産	1,551	1,798
その他	4,921	5,329
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	18,380	16,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,208	12,514
土地	12,582	12,582
その他(純額)	4,098	4,405
有形固定資産合計	28,890	29,502
無形固定資産		
のれん	747	813
その他	575	597
無形固定資産合計	1,323	1,410
投資その他の資産		
投資有価証券	5,311	5,570
差入保証金	22,080	22,321
その他	2,162	2,319
貸倒引当金	△576	△263
投資その他の資産合計	28,978	29,947
固定資産合計	59,192	60,860
資産合計	77,572	77,721

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,267	3,722
短期借入金	9,090	4,800
1年内返済予定の長期借入金	3,167	3,155
未払法人税等	241	839
引当金	1,542	1,806
その他	5,889	7,851
流動負債合計	23,198	22,175
固定負債		
長期借入金	10,135	10,445
引当金	247	267
その他	1,276	1,349
固定負債合計	11,660	12,062
負債合計	34,858	34,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,676	13,676
資本剰余金	23,936	23,936
利益剰余金	7,658	8,461
自己株式	△3,686	△3,686
株主資本合計	41,583	42,386
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	217	67
為替換算調整勘定	—	△8
評価・換算差額等合計	217	58
少数株主持分	912	1,037
純資産合計	42,714	43,483
負債純資産合計	77,572	77,721

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	27,155
売上原価	8,543
売上総利益	18,612
その他の営業収入	419
営業総利益	19,032
販売費及び一般管理費	19,107
営業損失(△)	△75
営業外収益	
受取利息	11
受取配当金	11
持分法による投資利益	5
協賛金収入	15
その他	82
営業外収益合計	126
営業外費用	
支払利息	64
その他	22
営業外費用合計	87
経常損失(△)	△36
特別利益	
店舗閉鎖損失引当金戻入額	537
受取補償金	62
特別利益合計	600
特別損失	
投資有価証券評価損	534
固定資産除売却損	28
減損損失	28
特別損失合計	591
税金等調整前四半期純損失(△)	△26
法人税等	404
少数株主損失(△)	△12
四半期純損失(△)	△419

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△26
減価償却費	816
減損損失	28
のれん償却額	65
引当金の増減額(△は減少)	△160
受取利息及び受取配当金	△22
支払利息	64
固定資産除売却損益(△は益)	28
持分法による投資損益(△は益)	△5
投資有価証券評価損益(△は益)	534
売上債権の増減額(△は増加)	600
たな卸資産の増減額(△は増加)	241
仕入債務の増減額(△は減少)	△454
その他	△59
小計	1,648
利息及び配当金の受取額	22
利息の支払額	△67
法人税等の支払額	△787
預り源泉税の支払額	△1,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	△219
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△621
投資有価証券の取得による支出	△23
子会社株式の取得による支出	△89
差入保証金の増減額(△は増加)	282
店舗閉鎖等による支出	△96
その他	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△577
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,290
長期借入れによる収入	600
長期借入金の返済による支出	△897
配当金の支払額	△377
その他	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,592
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,795
現金及び現金同等物の期首残高	5,763
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,549

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

	外食 事業	食品 事業	機内食 事業	ホテル 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,615	793	1,472	2,694	27,575	(—)	27,575
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	103	986	0	31	1,120	(1,120)	—
計	22,718	1,780	1,472	2,725	28,696	(1,120)	27,575
営業利益又は 営業損失(△)	43	83	194	△171	150	(225)	△75

(注) 1 事業区分は、業態及び製品の種類、性質により区分しております。

2 各事業区分の主要な内容は、次のとおりであります。

外食事業……………レストラン店舗の運営・パン・洋菓子・ケーキの販売

食品事業……………業務用食品・市販用デリカ製品等の製造・販売

機内食事業……………機内食の調製・搭載

ホテル事業……………ビジネスホテルの運営

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)

日本以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)

海外売上高は、連結売上高の10%未満でありますので、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間 (平成20年1月1日～3月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年12月期第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	28,669
II 売上原価	9,176
売上総利益	19,492
III その他の営業収入	398
営業総利益	19,891
IV 販売費及び一般管理費	19,746
営業利益	145
V 営業外収益	113
1 受取利息及び受取配当金	22
2 持分法による投資利益	6
3 その他	84
VI 営業外費用	98
1 支払利息	61
2 その他	36
経常利益	160
VII 特別利益	33
固定資産売却益	33
VIII 特別損失	467
1 投資有価証券評価損	338
2 固定資産売却却損	75
3 減損損失	27
4 店舗撤退損失引当金繰入額	26
税金等調整前四半期純損失 (△)	△273
法人税、住民税及び事業税	379
法人税等調整額	△157
少数株主損失 (△)	△23
四半期純損失 (△)	△472

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年1月1日～3月31日)

	前年同四半期 (平成20年12月期第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△273
減価償却費	845
減損損失	27
のれん償却額	133
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	452
店舗撤退損失引当金繰入額	26
受取利息及び受取配当金	△22
支払利息	61
持分法による投資利益	△6
固定資産売却益	△33
固定資産売却損	75
投資有価証券評価損	338
売上債権の増減額(△は増加)	464
たな卸資産の増減額(△は増加)	249
仕入れ債務の増減額(△は減少)	△234
未払金の増減額(△は減少)	△144
その他	584
小計	2,546
利息及び配当金の受取額	22
利息の支払額	△65
法人税等の還付額	1
法人税等の支払額	△1,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,179
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△582
有形固定資産の売却による収入	7
投資有価証券の取得による支出	△0
子会社株式の追加取得による支出	△806
差入保証金の純増減額(△は増加)	△213
店舗撤退等による支出	△6
その他	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,618
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△43
長期借入れによる収入	300
長期借入金の返済による支出	△875
自己株式の取得による支出	△1,001
配当金の支払額	△773
少数株主への配当金の支払額	△94
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,488
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,929
VI 現金及び現金同等物の期首残高	9,425
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	6,496

(3) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成20年1月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

	外食 事業	食品 事業	機内食 事業	ホテル 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	24,359	804	1,578	2,324	29,067	(—)	29,067
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	78	1,858	0	29	1,966	(1,966)	—
計	24,437	2,663	1,578	2,354	31,034	(1,966)	29,067
営業費用	24,342	2,603	1,318	2,364	30,629	(1,706)	28,922
営業利益又は 営業損失(△)	95	59	260	△10	405	(259)	145